

小4

◆野菜とくだもの作り～日本の農業(3)◆

下巻13回

氏名

得点

各10点
170点

1	大都市に出荷するために、大都市の近くで野菜などを生産する農業を（ ）という。		
2	問1のような農業の長所を説明せよ。		
3	暖かい気候を利用して野菜を早く作り出す栽培方法を（ ）という。		
4	茨城県や宮崎県では（①）、高知県や熊本県では（②）の生産がさかんである。	①	②
5	ビニールハウスなどを使わずに、作物を栽培する方法を（ ）という。		
6	夏でも涼しい気候を利用して野菜を作る農業を（ ）という。		
7	高原野菜は長野県の（①）という土地や、群馬県の（②）という土地でさかんに作られている。	①	②
8	東京に夏（7月～9月）出荷されるキャベツを一番多く生産している県を選べ。 【愛知県 千葉県 群馬県】		
9	東京に冬～初春（1月～4月）出荷されるキャベツを一番多く生産している県を選べ。 【愛知県 千葉県 群馬県】		
10	ネギ、ほうれん草、ニンジンなどの生産がさかんで、人口の多い東京の食料を支える県を答えよ。		
11	たまねぎ、にんじんの生産量がともに日本一の都道府県を答えよ。		
12	りんごは（①）県が、おうとうは（②）県が日本一の生産量を上げている。	①	②

13	山梨県が日本一の生産量を増えているくだものを2つ答えよ。		
14	暖かい和歌山県や愛媛県で生産されているくだものは(①)である。海のそばの(②)という畑 <small>さいばい</small> で栽培している。	①	②
15	次のくだものを生産量の多い順にならびかえなさい。 【りんご 日本なし みかん】	→ →	
16	くだものの輸入も増えている。もっともたくさん輸入しているくだもので、フィリピンという国から輸入しているくだものは()である。		
17	90%以上は輸入しているが、広島県や愛媛県など瀬戸内地方で生産が増えているくだものは、()である。		

小4

◆野菜とくだもの作り～日本の農業(3)◆

下巻13回

氏名

満点 とれ太

得点

各10点
170点

1	大都市に出荷するために、大都市の近くで野菜などを生産する農業を（ ）という。	きんこうのうぎょう 近郊農業	
2	問1のような農業の長所を説明せよ。	新鮮なまま、出荷できる（輸送する費用が安くすむ） <small>しゅつか</small>	
3	暖かい気候を利用して野菜を早く作りする栽培方法を（ ）という。	そくせいさいばい 促成栽培	
4	茨城県や宮崎県では（①）、高知県や熊本県では（②）の生産がさかんである。	①ピーマン	②なす
5	ビニールハウスなどを使わずに、作物を栽培する方法を（ ）という。	ろじさいばい 露地栽培	
6	夏でも涼しい気候を利用して野菜を作る農業を（ ）という。	高冷地農業	
7	高原野菜は長野県の（①）という土地や、群馬県の（②）という土地でさかんに作られている。	①野辺山原 <small>のべやまはら</small>	②孺恋村 <small>つまごいむら</small>
8	東京に夏（7月～9月）出荷されるキャベツを一番多く生産している県を選べ。 【愛知県 千葉県 群馬県】	群馬県	
9	東京に冬～初春（1月～4月）出荷されるキャベツを一番多く生産している県を選べ。 【愛知県 千葉県 群馬県】	愛知県	
10	ネギ、ほうれん草、ニンジンなどの生産がさかんで、人口の多い東京の食料を支える県を答えよ。	千葉県	
11	たまねぎ、にんじんの生産量がともに日本一の都道府県を答えよ。	北海道	
12	りんごは（①）県が、おうとうは（②）県が日本一の生産量を上げている。	①青森	②山形

13	山梨県が日本一の生産量を上げているくだものを2つ答えよ。	ぶどう	もも
14	暖かい和歌山県や愛媛県で生産されているくだものは(①)である。海のそばの(②)という畑 <small>さいばい</small> で栽培している。	①みかん	②段々畑
15	次のくだものを生産量の多い順にならびかえなさい。 【りんご 日本なし みかん】	みかん→りんご→日本なし	
16	くだものの輸入も増えている。もっともたくさん輸入しているくだもので、フィリピンという国から輸入しているくだものは()である。	バナナ	
17	90%以上は輸入しているが、広島県や愛媛県など瀬戸内地方で生産が増えているくだものは、()である。	レモン	